

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書

地域・家庭・学校の「絆」で育む国高っ子

越前市国高小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	70人
授業ボランティア(含:低ボラ)	541人
登下校支援ボランティア	18,600人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさととの教育」

具体的活動内容

コミュニティ・ティーチャーとして登録されたゲストティーチャーや授業ボランティアなど地域の人材を活用し、「技の伝授」をしていただいたり、地域に出かけたりして地域の自然や人、文化等とふれあう機会を充実させ、ふるさと「国高地区」のよさを発見しゆたかな心を育てる取組

- 1年：昔遊びのできるお年寄りや保護者を招き、お手玉・おはじき・メンコ・コマの遊びを教えていただきながら、昔の文化にふれた。
- 2年：校区内で大きな畑を借用し、授業ボランティアと一緒にサツマイモを育て、できたサツマイモは、全校と併設の幼稚園の給食約800食に使用した。育てる中で、地域の自然や多くの人達とふれあった。
- 3年：自分たちの地区「国高」をもっと好きになるうと地区内の探検に出かけ、地区の語り部の方から昔の小学校の様子や地区に伝わる民話をお聞きし、地区の文化や良さを発見した。また、地区の技の達人を「名人さん」として招き、「リズムダンス」「わら細工」「折り紙」「どんぐり飾り」「生け花」の体験をした。
- 4年：地区の戦争時の様子に詳しいお年寄りを招き、昔と今を比べては地区のよさにふれた。
- 5年：器械体操の学習で、地区内の体操の達人を招き技を指導していただいた。地区の「食育」に詳しい方を招き、食と健康についての話をお聞きした。
- 6年：社会科の学習と絡めて児童が希望選択し「剣舞」「絵手紙」「俳画」「百人一首」という伝統文化を体験した。



(6年：剣舞)

サイエンス教室：地元のボランティアの方が、月1回業間時に楽しい教室を開いてくださった。「のりはなぜつくのか」「シーソーはどうして動くのか」「紙と鉛筆について」等。

成果と課題

地区の方をコミュニティ・ティーチャーとして招いた学習や、地区に出かけてふるさとを知る学習は数年前から継続している。人や自然とのふれあいは、児童の興味関心が高まり地区のよさを知るだけでなく、この教育活動が地区の活性化にも繋がると地域・学校協議会で評価をいただいた。今後も地区、郷土への愛着心を育てる取り組みを継続していきたい。

